

一 般 質 問 通 告 書

佐野市議会議長 様

		受付	番号 10
			令和 7年8月27日
			午後5時10分
議会名	令和 7年 第 5 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 3番 横塚 剛		
答弁を求める者 (選択してください)		☐ 市長 ・ 副市長 ・ ☒ 教育長 ・ ☒ 担当部局長	
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)		あり (資料提示 ・ 資料配付 ・ モニター使用) ☒ なし	
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)		小項目 (具体的な質問内容)	
1 佐野市の高齢者介護の現況と今後について (1) 介護保険サービスの今後の在り方について		①団塊の世代が80代を迎える5年後の介護保険サービスの在り方について伺いたします。 ②団塊の世代が後期高齢者となり、今後も介護需要は増加傾向が続くと思われます。しかし、厚生年金平均受給額が手取りで月額約13万円、年額150万円です。国民年金平均受給額が手取りで、約月額6万円、年額70万円です(厚生労働省「厚生年金保険、国民年金事業の概況」より抜粋。特別養護老人ホーム入所の場合月額利用料(民間機関調べより抜粋))。介護度により異なりますが、多床室10万円前後で、ユニット型(個室)13万円前後となり入所したくても、非課税世帯であれば減免され、施設入所も可能ですが、課税世帯では自分の年金額では資金的に困難であり、家族への負担が増えると思われます。施設入所が困難となれば、在宅介護しかないというのが現状です。住み慣れた地域での生活を続けるため、在宅での介護サービスをどう提供していくのか考えをお伺いたします。	

(2) 高齢者介護施設で勤務する職員についての処遇改善及び、国家資格の取得や中途採用者への助成金について	① 高齢者介護事業所で働く介護従事者やケアマネージャー、看護師等に対して、本市独自の処遇改善の取組を行う考えがあるのか伺います。 ②本市では学生が国家資格を取得する際の支援として、受験料の助成を行っていますが、今後、介護職資格を有する方が新たに市内の介護事業所に就職する場合に助成を行うなどの取組をする考えはあるのか伺います。
(3) 在宅療養の支援体制について	① 令和3年当時、コロナワクチン接種が開始された当初、医療従事者、施設入居者、高齢者等から一般の方へと、段階的に接種が開始されていたかと思いますが、自宅で介護を受けている高齢者など、往診や訪問医療受診者は、どのタイミングでの接種を想定していたのか伺います。 ②24時間対応の訪問介護・訪問看護を提供する「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」事業所は佐野市内に1か所のみですが、この現状について考えをお伺います。 ③現在、看護小規模多機能型居宅介護事業所（気管切開患者等受け入れ可能）は佐野市内に2か所あり、第9期佐野市介護保険事業計画では、今後2か所を整備する予定となっていますが、整備の進捗をお伺います。
(4) 在宅療養を行っている家族に対してのレスパイトや支援内容の説明方法について	①医療依存度が高く介護保険でのショートステイでは対応が難しい方を対象に、家族の介護負担を軽くするため、医療保険によるレスパイト入院という仕組みがあります。市内病院のレスパイト入院の対応状況をお伺います。 ②今後、在宅で療養される方が増えた場合、レスパイト入院の必要性が高まると思います。レスパイト入院に対する本市の認識をお伺います。

2 医療的ケア児、障がい児、障がいがある方の家族に対する支援について (1) 医療的ケア児、障がい児、障がい者の認定を受けた際の説明及び医療費について (2) 医療的ケア児、障がい児の家族のレスパイトケアと学校での取組について	①医療的ケア児、療育手帳、障がい者手帳の認定を受けたご家族の方から、各種支援の窓口説明について、その時のご家族の精神状態や専門用語が多いパンフレットだけでは理解しづらいとの声を聞きました。理解していただく為の取組について、お伺いいたします。 ②障がい者医療費（重度心身障がい者医療費）、ひとり親家庭医療費の医療費助成等の申請方法について、医療費の助成を、後日市役所に申請するのではなく、こども医療費のように申請不要（現物給付）にならないのか、お伺いいたします。 ①医療的ケア児、障がい児のレスパイト入院の受け入れ先として、本市には佐野厚生総合病院がありますが、現在の利用状況及び近隣の施設についてお伺いいたします。 ②県立足利中央特別支援学校の分校を旧葛生小学校へ誘致することについて、県への要望状況をお伺いいたします。 ③本市では、小中一貫校の整備が計画されています。今後開校する義務教育学校や既存の小・中・義務教育学校において、障がいのある児童生徒と障がいの無い児童生徒が共に学ぶインクルーシブ教育に向けての取組の現状をお伺いいたします。 ④保育園等において、すべての子どもが地域の保育園や認定こども園などで共に育つことを前提としたインクルーシブ保育に向けての取組の現状をお伺いいたします。
--	---